

# B&G財団●平成20,21年度海洋教育事業

(抜粋)

## 自然体験活動の効果に関する調査研究

報告：学研教育総合研究所

本資料は、学研教育総研が、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略・B&G財団）から、平成20・21年度に渡り依頼を受け、調査研究の結果をまとめた2つの報告書の中から一部を抜粋したものです。

### 平成20年度 B&G 海洋教育事業 体験クルーズ（小笠原）

■ **内容**

船内研修と小笠原での児童・生徒の海洋体験

■ **目的**

小笠原へ航海を通じて、青少年の健全育成を図る事業。海や自然とふれあう体験を通して、海や自然を理解し大切にすることを育てる。また、船上での団体生活を通じて、思いやりと友情を育み、豊かな人間性の形成をはかる。

■ **調査期間**

2009年 3月26日～3月31日

■ **アンケートの回収方法**

【子ども】

体験クルーズ参加者へアンケート用紙を船上で直接配布し、回収。

【保護者】

体験クルーズ参加者にアンケート用紙を持ち帰らせて、後日郵送により回収。

■ **調査対象者**

【子ども】

・参加者.....492名  
 ・アンケートを回収した児童・生徒.....473名  
 ・有効回答数.....440名  
 ・有効回答率.....93.0%

【保護者】

・回答を返送した保護者.....164名  
 ・回収率.....33.3%  
 ・有効回答数.....162名  
 ・有効回答率.....98.8%

### 平成21年度 B&G 海洋教育事業 海洋体験セミナー（沖縄）

■ **内容**

沖縄での児童・生徒海洋体験

■ **目的**

沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して、各地域から集まった青少年を対象に、規律ある集団生活から、連帯感・団結心を持って友情を育み、ルールやマナー、礼節などの社会性を学ぶとともに、海に対する関心と理解を推進する。また、沖縄の特色ある文化や自然環境にふれ、「自然保護」や「地域環境」を考える機会とする。

■ **調査期間**

【子ども】

A行程：2009年7月22日～7月26日

B行程：2009年7月26日～7月30日

C行程：2009年8月2日～8月6日

D行程：2009年8月17日～8月21日

【保護者】

締切日：9月15日（火）

■ **アンケートの回収方法**

【子ども】

児童生徒へ「体験セミナー」中に直接アンケートを配布し、各行程の最終日前日に回収。

【保護者】

「体験セミナー」に参加した児童・生徒に保護者用のアンケート用紙を持ち帰らせて、後日郵送により回収。

■ **調査対象者**

【子ども】

・参加者.....292名  
 ・アンケートを回収した児童・生徒.....292名  
 ・有効回答数.....280名  
 ・有効回答率.....95.89%

【保護者】

・回答者数.....194名  
 ・回収率.....66.44%  
 ・有効回答数.....171名  
 ・有効回答率.....88.14%

### 平成21年度 B&G 海洋教育事業 親子ふれあい体験セミナー（沖縄）

■ **内容**

沖縄での親子海洋体験

■ **目的**

「海洋性レクリエーション」や「自然体験活動」を通して、親子の絆を深めるとともに、海洋や自然に関する理解増進を図ることを目的とする。

■ **調査期日**

2009年7月30日～8月2日

■ **アンケートの回収方法**

児童および保護者それぞれに記述式のアンケートを実施。

■ **調査対象者**

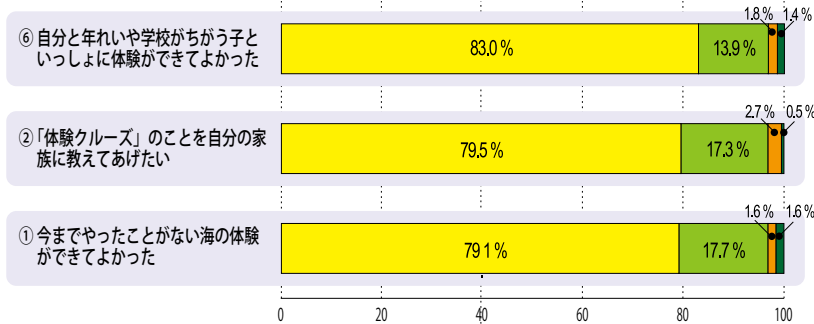
・参加者.....13組28名  
 (保護者13名、児童15名)

・アンケート回収.....28名  
 ・有効回答数.....28名  
 ・有効回答率.....100%



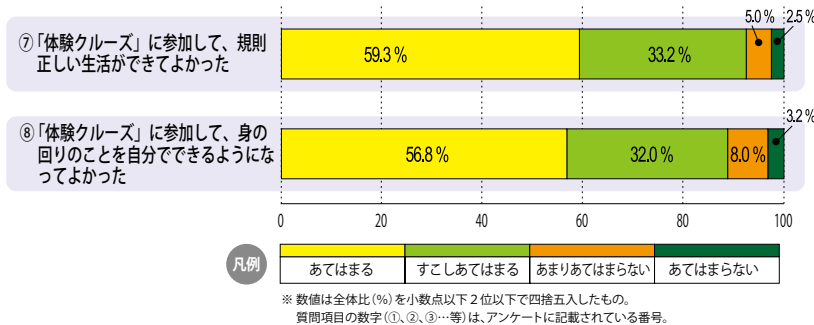
## [子ども] アンケート集計結果 (一部)

### 「自然体験と社会性の向上」 関連のアンケート集計結果



素直に新しい体験への感動をうかがえる結果となっている。新しい友だちができたこともよかったことであると、自由記述でも述べている。保護者へのアンケートの中でも、満足気に体験クルーズの話をする姿が報告されている。

### 「団体生活・自立」 関連のアンケート集計結果



「あてはまる」「すこしあてはまる」を併せると約 90% の児童・生徒が「⑦『体験クルーズ』に参加して、規則正しい生活ができてよかった」「⑧『体験クルーズ』に参加して、身の回りのことを自分でできるようになってよかった」と答えている。体験クルーズの「自主自律の精神の高揚」というひとつの目的が達成されたことがうかがえる結果となっている。

## [子ども] 記述式回答結果 (一部)

### ● 「人」の視点

- ・ 友だちと仲良くできるようになった
- ・ 協力することの大切さがわかった
- ・ 礼儀正しい生活ができるようになった
- ・ 家族とたくさん話をするようになった
- ・ 初めて会った人でもすぐに友だちになれるようになった
- ・ 人とのつながりができた
- ・ 他の学年や学校の人と仲良くなれた

### ● 「もの」の視点

- ・ 自然のすばさを体験した
- ・ 自然を守る事の大切さがわかった
- ・ 環境、カメ、クジラ、小笠原、魚、サンゴ、シュノーケリング、ライフセービング (命の大切さ、自分の命の大切さ)
- ・ 環境保護 (ゴミ、水質、海洋)

### ● 「こと」の視点

- ・ 団体行動：挨拶、5分前集合、気をつけ、整列、時間を守る
- ・ 時間を見て行動できるようになった
- ・ 自分から行動できるようになった
- ・ 早寝早起きができるようになった

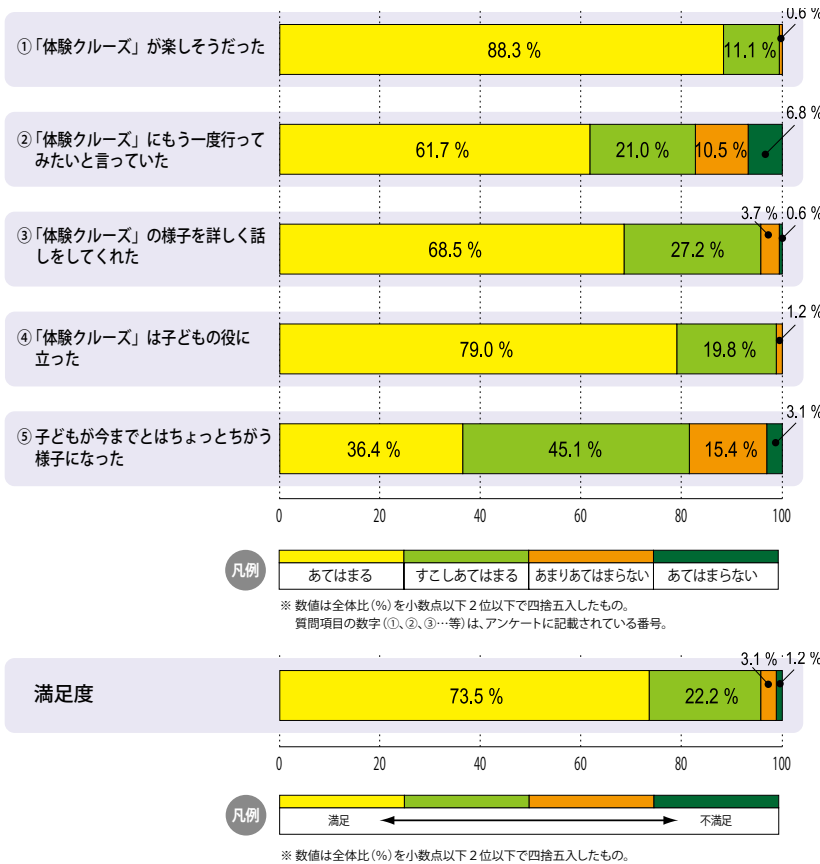
## [子ども] 結果についての評価 (抄)

児童・生徒調査の 4 件法によるアンケートの単純集計では、全ての設問で「あてはまる」「すこしあてはまる」の合計が 75% を超え、子どもたちの感動・満足度をストレートに映し出す結果となった。本事業が子どもたちの成長に効果をもたらしていることは、はっきりといえるであろう。



**[ 保護者 ] アンケート集計結果 (一部)**

アンケート集計結果



ほとんどの保護者が「①『体験クルーズ』が楽しそうだった」と考えていることがわかる。帰ってきた子どもたちの反応をすなおに表した結果となっている。

さらに、ほとんどの保護者が「④『体験クルーズ』は子どもの役に立った」と考えている。体験クルーズの効果を感じていることがわかる。

また、多くの保護者が「③『体験クルーズ』の様子を詳しく話ししてくれた」「②うちに帰ってもう一度行ってみたいと言っていた」と答えていて、体験クルーズの様子を児童・生徒たちが保護者に伝えていたことがわかる。

満足度に関する設問では、ほとんどの保護者が満足であると答えている。この結果、保護者は体験クルーズが子どもにとってとても有意義であると考えていることがわかる。

**[ 保護者 ] 記述式回答結果 (一部)**

● 参加させた動機

- ・ 自主性、積極性、協調性、責任感、自立心などを育てる
- ・ 友だちをたくさん作って欲しい
- ・ 小学校ではできないことの体験

● 期待通りでなかったこと

- ・ 船酔いをしてしまい100%楽しめなかったこと。
- ・ 「自分のことは自分で」という意識が持てるようになって思ったが、家に帰ったら元にもどってしまったこと。

● 帰ってからのエピソード

- ・ ウミガメのことをさらに調べていた

● 「子どもが変わったな」と思うこと

- ・ お手伝いをするようになった
- ・ 自然・エコのことを話すことが多くなった
- ・ 自信を持って行動するようになった
- ・ たくましくなった
- ・ 自分のことは自分でするようになった

**[ 保護者 ] 結果についての評価 (抄)**

児童・生徒調査の補完を目的に実施した保護者調査は、「価値観の変容」は「態度の変容」として表れるとの仮説に基づいて、体験クルーズ参加後の子どもたちの観察に主眼を置く内容とした。集計結果から、ほとんどの保護者が体験クルーズの効果や子どもたちの変化を感じていることがわかり、児童・生徒調査と同様、高い満足度を示す結果となった。





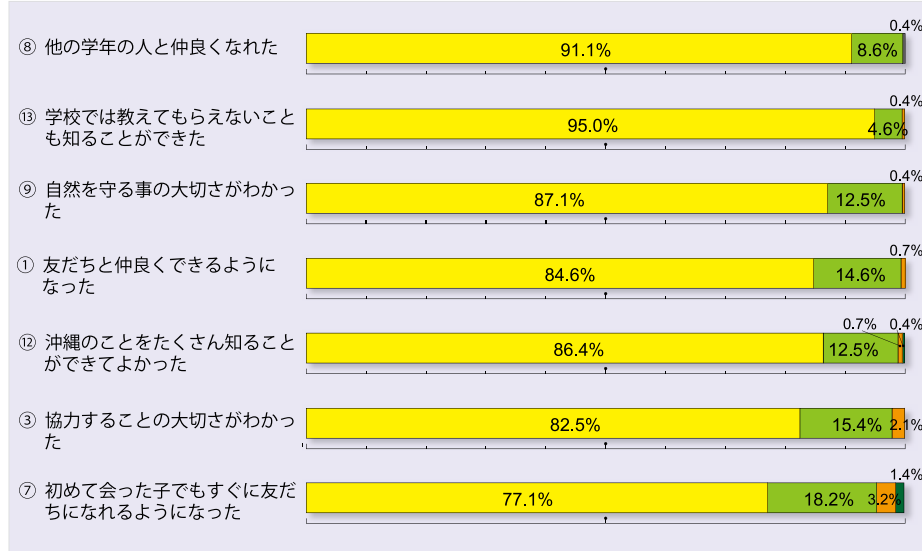
平成 21 年度 B&G 海洋教育事業

# 海洋体験セミナー（沖縄）

調査結果抜粋

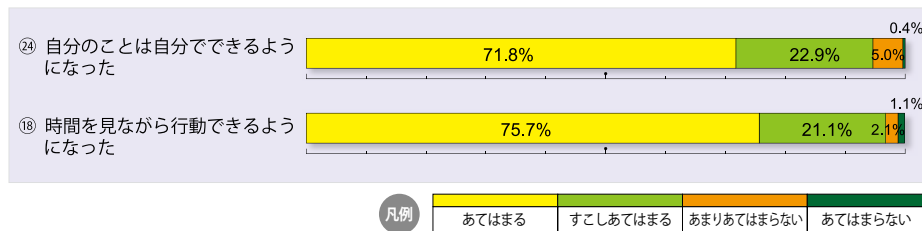
## 【子ども】アンケート集計結果（一部）

### 「自然体験と社会性の向上」関連のアンケート集計結果



自然体験の「⑨自然を守る事の大切さがわかった」「⑫沖縄のことをたくさん知ることができてよかった」。社会性としての、「⑧他の学年の人と仲良くなれた」「①友だちと仲良くできるようになった」「③協力することの大切さがわかった」「⑦初めて会った子でもすぐに友だちになれるようになった」の結果がよいことから、自分たちの成果を自己評価していることが推察される。これらの項目は、最近の児童・生徒たちが「充分ではない」とされている項目群である。これらを補完するという「体験セミナー」の目的は大いに達成されたと思われる。

### 「団体生活・自立」関連のアンケート集計結果



「⑭自分のことは自分でできるようになった」「⑮時間を見ながら行動できるようになった」が良い結果となった。規律ある生活を体験することによって、自立した生活ができるようになったと感じていることがわかる。

凡例

あてはまる	すこしあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	----------	------------	---------

※ 数値は全体比(%)を小数点以下2位以下で四捨五入したもの。  
質問項目の数字(①、②、③…)等は、アンケートに記載されている番号。

## 【子ども】記述式回答結果（一部）

- 海の中は、こわくて（ふかい所）入れなかったけどこのセミナーで、ふつうに入れるようになってよかった
- 「海はこわい」とずっと思っていたけど、今回の体験で海の楽しさが分かった
- 生き物をすぐにさわれるようになった
- シュノーケリングができるようになった。カヌーがこげるようになった。小型ヨットに乗れた
- カヌーのこぎ方やイルカへの接し方などもわかりやすくてできるようになった
- ヨットのそうさができるようになった
- どんな人にもあいさつができるようになった
- 友達がじゅんびをできていなかったらいつてしまわずに、少しまっているようにできた
- リーダーになって、責任感を持てるようになった
- 家族にやってもらっていた洗たくや物干しができるようになった
- 食事のバランスを考えてごはんをもることができた
- 生物学をととても知り、このセミナーの中で、知識が豊富になった

- 沖縄のことをいろいろ知ることができた
- 海の大切さがわかるようになった
- 魚などの生き物が好きになった。時間にあまりおくれなくなった

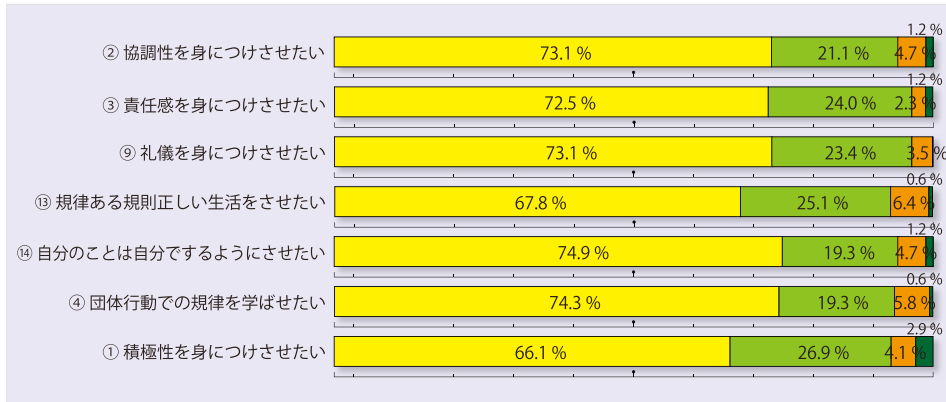
## 【子ども】結果についての評価（抄）

児童・生徒たちはこの体験を通して、「沖縄の自然に触れて、海洋スポーツなどを体験し、新しい友だちと楽しく過ごし、勉強になった」と感じているようだ。また、記述式回答の内容から、「何かを見る目がかわること」という貴重な学習成果が得られていることがわかる。



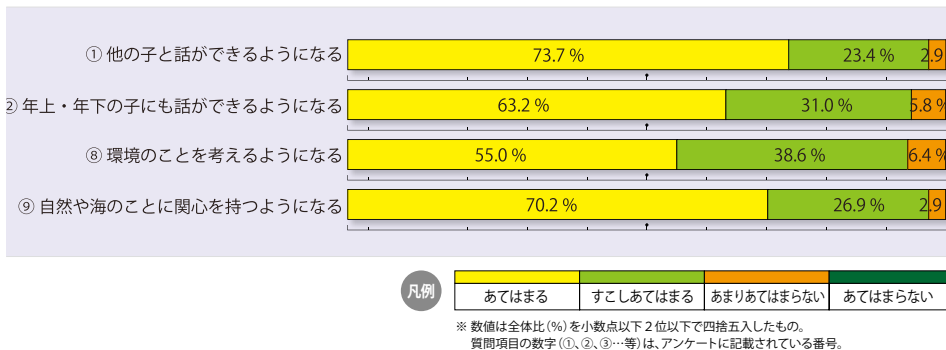
**[ 保護者 ] アンケート集計結果 (一部)**

**「セミナーへの期待：自立・団体生活」関連のアンケート集計結果**



保護者は「②協調性を身につけさせたい」「③責任感を身につけさせたい」「⑨礼儀を身につけさせたい」「④団体行動での規律を学ばせたい」と、団体生活での経験を重視していることがわかる。さらに、「⑭自分のことは自分でできるようにさせたい」「⑬規律ある規則正しい生活をさせたい」「①積極性を身につけさせたい」と自立することへの期待も抱いていたことがわかる。

**「セミナーの効果：自然体験と社会性の向上」関連のアンケート集計結果**



自然や海のことに関心を持った (設問⑨)、環境のことを考えるようになり (設問⑧)、また、知らないことができたり (設問①)、異年齢の子と話ができたり (設問②) できるようになった。どの項目も、「あてはまる」「少しあてはまる」を合わせると 95% 以上になる。「自然体験・社会性の向上」を証明する結果となっている。

**[ 保護者 ] 記述式回答結果 (一部)**

**● 期待どおりだったこと**

- ・ 沖縄の自然のすばらしさを感じてもらえたこと
- ・ 経験したことのなかった色々な海でのスポーツ (カヌー、ヨット、ダイビング等) を経験することができたこと
- ・ 一人で家族と離れて活動できたことは、良い経験になったと思います
- ・ 少し大人になってくれたようで、団体生活で学んだのか、礼儀正しくなってくれたと感じます。地域で子どもが一人だけなので協調性が心配でしたが、うまく人づきあいができたようで良かったです
- ・ 規律ある行動への指導、規則正しい生活、興味を持って楽しく体験できる内容
- ・ 家族の大切さや家族への思いやりに気づいたこと

**● 期待どおりではなかったこと**

- ・ もう少し生活面や精神的自立面が変化することを期待しましたが、そちらは全然かわらないですね。ただ、参加している間はちゃんとやっていたと言っているのでも、本人がやる気になれば多少はできるのかしら・・・
- ・ 新しくできた友達のアドレスを記入してなくて、せっかく仲良くなって文通でもするのかと思っていただけ、住所が分からなくて残念

**● 家に帰ってからのエピソード**

- ・ セミナーで友達になった子に手紙を出しました。帰宅した翌日だけでしたが、「ごちそうさま」と言って食器を流し台の所まで持ってきた際に、頭を下げてくださいました
- ・ 帰りに迎えに来て下さった B & G のスタッフの方は「本人は疲れた様で車に乗ると即寝ました」と伝えて下さったのですが、本人は「寝たふりをして本当は友達との別れが辛くて泣いてたんだ」と私に教えてくれました

**[ 保護者 ] 結果についての評価 (抄)**

保護者の期待は、「自然体験」と「社会性の向上」に集中している。このうち、前者については期待通りの成果が得られたとする保護者が大半であった。しかし、後者については、効果は評価するものの家に帰ってから効果が持続しないという意見も見られた。セミナーの成果をいかに持続させるかが、課題といえそうだ。





平成 21 年度 B&G 海洋教育事業

# 親子ふれあい体験セミナー（沖縄）

調査結果抜粋

## 【子ども】記述式回答結果（一部）

- ・第1日目、お父さんが一番多く名前を覚えていたことがすごいと思う
- ・ヨットとか運転するやり方をいろいろと知っていて、とってもすごいな～と思いました
- ・ダイビングで遠くまで跳べてすごかった
- ・橋の上から飛び込む時、お父さんは迷いなく飛び込んだのがすごいと思いました
- ・ヨットの帆をひっぱったりしてすごかった
- ・料理が上手。ヨットを速く引けた（わけ：ひもがいっぱいついていて、ひばってくれたから）
- ・妹は来年できるかも知れなかったけど、ダイビングをやると聞いて「これは無理だな」と思いました
- ・お母さんは料理のしかたをよく知っていて、すごいと思った
- ・お母さんは海の中でずっとカメラをとっていたので、すごいと思いました
- ・海に飛び込んだのが大人らしく、かっこうよかった

## 【保護者】記述式回答結果（一部）

- ・部屋を出る時など、「失礼します。」と元氣よく言えた時など、今まではきいたことがなかったので、成長を感じました。3日間の間でしたが、友だちと仲良く（体験セミナーを通して）なっていく様子を見て驚いたと同時にほころしく思いました
- ・家族旅行では、どうしても親がお世話する場面が多々あります。この研修では、子どもの自主性を引き出す事が親の私に大変良く伝わり、平素の生活で、前述のように「過保護」であったと反省しております。3日間を振り返って、「高学年でよく低学年をまとめていた。」「自立心ができた。」「マナーが良かった。」と感じました
- ・活動内容は、子ども本人が2度目ということもあり、大分知っていましたが、「海へのジャンプ!!」は予定外であったようで、少しこわがっていました。でも、最後には勇氣を出して飛んでくれました。あまり何でもできる子ではありませんが、やればできるんだ・・・と思いました
- ・息子と2人でこんなに長い時間を過ごしたことがなく、いつも見て見ぬふりをしてきたせいもあり、子どものだらしなさや話を聞く態度のまずさ、食事の取り方等々ちゃんとしてつけてこなかった自分を反省する機会となりました。ダイビングや水泳などは本人は無理無理と言いながらやりとげられたことで自信が持てたようでよかったです
- ・家では、生活する上で、一人でできないことが多くあるが、今回のセミナーでは、女の子だけのチームで、すべてできていて感心しました。特に「お金を出し合って洗濯機を利用している。」と聞いてビックリしました
- ・初めての事に、自分から興味関心を持って取り組むことができました。何よりワクワクしたり、本当に楽しんでいる様子に安心し、嬉しく思いました
- ・学校の宿泊学習など行動が見られない分、いろいろな行動が見られてよかったと思います。友だちの対応のしかた、いつも生活しているお友だちではなく、初対面でもみんなと仲良しになれる、社会性など、将来、仕事、社会に出ても大丈夫かなと安心しました



## 結果についての評価（抄）

児童の結果を見ると、男性保護者には、「力強さ」「社会性」「ヨットの経験値」にすごいなと感じていることがわかる。「普段は目にはしていない光景」を見ての感想であろう。女性保護者には、大人としての「力強さ」を感じていると共に、料理のうまさを上げている。特に、女子児童はそのことを指摘している場合が多い。これは「普段見ている光景」を再認識しての感想であろう。

保護者の結果を見ると、子どもたちが自主自立した姿を目にして、感動している様子が見てとれる。すぐに友だちができたことをあげている保護者が多いことから、初対面時の人間関係の構築のスキルに成長を感じていることがわかる。また、保護者として、自分たちの育て方を振り返り、反省する気持ちになっている方が多いと推察できる。

以上により、「親子セミナー」は「自分たちの子育てを振り返る場」となっていたのではないかと考えられる。

### 【編集・制作】

#### B&G財団 海洋教育事業調査委員会

調査研究 ● 学研教育総合研究所

委員長 ● 安威 誠 学研ホールディングス 学研教育総合研究所長

調査監修 ● 河崎 睦 神奈川県横浜市立北の台小学校教諭

写真提供 ● B&G 財団

※本資料は、2010年1月28日開催の「B&G 全国サミット」における発表のため、「B&G 体験クルーズ 体験活動に関する調査報告書（全30ページ）」と「B&G 海洋体験セミナー・B&G 親子ふれあい体験セミナー 体験活動に関する調査報告書（全72ページ）」から一部を抜粋してまとめたものです。